



5月の園だより

令和6年5月 富田林市立錦郡幼稚園



「みどりは、生命の源です」

～ こどもよくきて からすのゑんどう ある草地 ～

5月になりました。園庭の色はすっかり緑になり、心にもよい影響を与えているようです。「おはようございます！」大きくしっかりと朝のご挨拶ができるようになってきました。逆に「幼稚園行かない」と泣き叫んでいる子が全くいません。いつもなら春のこの時期、お家の人と離れるのがいや、自分の思い通りにならない等の理由で、幼稚園に足が進みにくい子が必ずとっていいほどいるのですが、水やりをし、虫を追いかけ、草を観察し、外来種を除去する・・・、園活動の多くのシーンで、みどりは大活躍しています。『カラスノエンドウ』には、無数のアブラムシがついていて、それをテントウムシの幼虫が食べています。やがて成虫となったテントウムシは、しばらく『カラスノエンドウ』にとどまっています。こどもたちは、これらの生命の循環を体験として知っていて、テントウムシを探すときは、まず『カラスノエンドウ』を見つけることから始めるのです。「こどもよくきて からすのゑんどう ある草地」(川島彷徨子)このようなのんびりとした情景が、本園では日々展開されているのです。みどりは、こどもたちや我々大人、つまり人間も含めた生態系をより豊かにして育ててくれているのですね。

園長 塩野 義和

育てたいこと

- <3歳児> ・一日保育の流れを知り、生活のリズムに慣れる。
・給食に期待をもち、楽しく食べる。
- <4歳児> ・先生や友達と関わったり、自分の好きな遊びを夢中になって楽しんだりする。
・初夏を感じながら、身近な自然に興味や関心をもつ。
- <5歳児> ・戸外で伸び伸びと体を動かして友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
・身近な自然に興味や関心をもち、生長や収穫に期待をもつ。



おたんじょうび
おめでとう♪

5月はそら組、はな組、ほし組のおともだちが
お誕生日です!!